令和元年度社会福祉法人大谷菩提樹会事業報告書

1　法人の概要

（1）概況

○　当法人は、音更町内において木野南保育園、幼保連携型認定こども園宝来こども園、鈴蘭保育園及び下士幌へき地保育所、帯広市内においておひさま保育園、計 5 園の運営を行っている。

○　平成 17 年 2 月の法人設立以来、一貫して「ともに生き　ともに育ち　ともに支えあう保育」を基本理念とし、国の保育所保育指針及び幼稚園教育要領に基づく教育・保育課程（全体的な計画、附属明細書 P29）を編成し、「養護」と「教育」を有機的に結び付けた教育・保育を推進している。また、利用者のニーズや行政の施策の期待に応えるべく、通常の教育・保育はもとより、特別保育事業や子ども子育て支援事業に積極的に取り組んでいる。

○　当法人が運営する 5 園は、音更町及び帯広市から交付される委託費や施設型給付費を主な財源として運営を行っている。

（2）令和元年度の運営

各園共、比較的順調な運営を行っているが、特に令和元年度においては、

○　（仮称）宝来認定こども園建設事業の推進
○　幼保連携型認定こども園宝来こども園の運営開始
○　鈴蘭保育園の利用定員の改正
○　下士幌へき地保育所の運営開始
○　幼児教育・保育の無償化
○　新型コロナウイルス感染拡大防止

への対応等、各園の教育・保育を取り巻く環境に大きな変化があった。

2　保育園等の運営

（1）教育・保育機能の充実

①　（仮称）宝来認定こども園建設事業の推進

○　2 箇年事業で実施した（仮称）宝来認定こども園（宝来こども園）の整備については、平成 30 年度の建物本体工事に続き、令和元年度において園庭、駐車場等の外構工事及び旧宝来保育園園舎の解体撤去工事を行い、同年 7 月末をもって工事の全体が完成した。2 箇年で投じた事業費は、次のとおりである。（附属明細書 10－（16））

（単位：円）

年度	事業費の内訳			財源内訳		
	直接工事費	関連事業費	計	補助金	借入金	自己資金
H30	556,895,202	7,994,875	564,890,077	265,298,000	249,500,000	50,092,077
R 元	57,716,382	9,713,342	67,429,724	10,107,000		57,322,724
計	614,611,584	17,708,217	632,319,801	275,405,000	249,500,000	107,414,801

○　宝来こども園の完成を祝し、次のとおり記念事業を実施した。

（単位：円）

事業名	開催日時等	事業費	摘要
落成法要	令和元年 8 月 9 日（金） 午前 9 時 30 分	453,879	・宝来こども園「遊戯室」 ・役職員及び設計・建設業者 27 名参加
落成式典	令和元年 8 月 9 日（金） 午前 10 時		・宝来こども園「遊戯室」 ・案内状 167 人、参加者 84 人
落成祝賀会	令和元年 8 月 9 日（金） 午前 11 時 30 分		・宝来福祉館「大集会室」 ・案内状 167 人、参加者 68 人
記念公演	令和元年 10 月 30 日（水）～31 日（木）	543,055	・大友剛「マジックと音楽と絵本のコンサート」 ・30 日～木野南、鈴蘭（下士幌を含む。） ・31 日～宝来、おひさま

事　業　名	開催日時等	事業費	摘　　要
記念講演会	―	―	・令和２年３月 27 日（金）に音更町文化センターで実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため「当面の間延期」することとした。
要覧作成	―	168,234	宝来こども園要覧 300 部、法人要覧 200 部
事務費	―	3,093	
計		1,168,261	

② 各園の大規模施設改修計画の策定

○　保育環境の充実を図るため、現時点において想定される施設改修箇所を明らかにし、整備を促進することとした。

区　分	工　事　名	工　事　概　要	予定年度	摘　　要
木野南保育園	電気設備改修工事	エアコン設置、照明設備 LED 化	R3	
	屋上防水工事	防水シート張替	未定	老朽化の度合いにより検討
鈴蘭保育園	電気設備改修工事	受変電設備設置、エアコン設置、照明設備 LED 化	R2	施工中（工期：R2・7・31）
	屋上防水工事	防水シート張替	未定	老朽化の度合いにより検討
おひさま保育園	電気設備改修工事	照明設備 LED 化	未定	施設整備計画との関連で検討
	塗装改修工事	屋根塗装、外壁・軒天塗装、鉄骨階段塗装、コーキング、門扉・塀塗装、灯油タンク廻り	未定	同上

○　上記の大規模施設改修計画に基づき、「鈴蘭保育園電気設備改修工事」を次のとおり発注した。

・　工事の概要　　受変電設備の設置（一式）冷暖房設備（エアコン）の設置（12 台）、照明設備 LED 化（照明器具 249 台、外灯 2 灯）
・　工　　期　　令和２年３月 18 日～7 月 31 日
・　契約金額　　32,230,000 円
・　契約の相手方　大塚電設工事（株）

（2）教育・保育事業の推進

① 幼保連携型認定こども園の開設

○　平成 31 年２月 15 日付け（十保社第 6110 号）をもって平成 31 年４月１日認可を得た「幼保連携型認定こども園宝来こども園」は、同日から運営を開始した。なお、平成 31 年４月１日現在の在籍園児数は、次のとおりであった。

区　　分	定　員	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計
1 号認定(幼稚園部分)	30 人				8 人	1 人	5 人	14 人
2 号・3 号認定（保育所部分）	140 人	11 人	21 人	22 人	29 人	32 人	34 人	149 人
計	170 人	11 人	21 人	22 人	37 人	33 人	39 人	163 人

② 鈴蘭保育園の保育事業

○　利用定員を 10 人増の 140 人として運営を開始した。平成 31 年４月１日現在の在籍園児数は、次のとおりであった。

区　分	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計
利用定員	10 人	18 人	28 人	28 人	28 人	28 人	140 人
在籍園児数	10 人	18 人	30 人	34 人	34 人	35 人	161 人

○　病児保育事業（病後児型）は、平成 31 年４月１日から宝来こども園に移行した。

③　下士幌へき地保育所の運営

当法人が運営事業者となった音更町立下士幌へき地保育所は、利用定員 19 人（令和 2 年 4 月 1 日から 12 人に改正）をもって、平成 31 年 4 月 1 日から小規模保育事業（A 型）として運営を開始した。平成 31 年 4 月 1 日現在の在籍園児数は、次のとおりである。

区　　分	定　員	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計
園児数	19 人		1 人		3 人	1 人	1 人	6 人

④　幼児教育・保育の無償化への対応

○　令和元年 10 月 1 日から幼児教育・保育の無償化が実施されることに伴い、副食費等を次のとおり設定した。なお、副食費、一時保育利用料等において、一定の軽減又は無償化の措置が講じられている。

○　徴収に当たっては、口座振替（帯広信用金庫及びゆうちょ銀行）を促進することにより保護者の納付の円滑化を図った。

【木野南保育園、宝来こども園（保育所部分）、鈴蘭保育園、おひさま保育園及び下士幌へき地保育所】

区　　分		3 号認定（0～2 歳）		2 号認定（3～5 歳）	
		現　　行	改　　正	現　　行	改　　正
保育料	基本部分	音更町が決定・徴収（宝来は法人徴収）	同左（市町村民税非課税世帯～無償化）	音更町が決定・徴収（宝来は法人徴収）	無償化
	給食費（副食費）	保育料の一部として音更町（宝来は法人）が徴収		保育料の一部として音更町（宝来は法人）が徴収	4,500 円／月を法人が徴収
給食費（主食費）		保育料の一部として音更町（宝来は法人）が徴収		800 円／月を法人が徴収 無償化の対象外	
延長保育料		無償化の対象外			
一時保育利用料（鈴蘭）		昼食代及びおやつ代を含む定額で設定）	昼食代及びおやつ代を明確化 ・昼食代 200 円 ・おやつ代 100 円	昼食代及びおやつ代を含む定額で設定）	昼食代及びおやつ代を明確化 ・昼食代 200 円 ・おやつ代 100 円
病児保育事業（宝来）		無料			

【宝来こども園（幼稚園部分）】

区　　分		現　　行	改　　正
保育料（基本部分）		音更町が決定・法人徴収	無償化
給食費	主食費	3,500 円／月を法人が徴収	640 円／月を法人が徴収（無償化対象外）
	副食費		2,860 円／月を法人が徴収（無償化対象外）
一時預かり事業利用料		昼食代及びおやつ代を含む定額で設定	昼食代及びおやつ代を明確化 ・昼食代 200 円 ・おやつ代 50 円

【おひさま保育園】

区　　分		3 号認定（0～2 歳）		2 号認定（3～5 歳）	
		現　　行	改　　正	現　　行	改　　正
保育料	基本部分	帯広市が決定・徴収	同左（市町村民税非課税世帯～無償化）	帯広市が決定・徴収	無償化
	給食費（副食費）	保育料の一部として帯広市が徴収		保育料の一部として帯広市が徴収	4,500 円／月を法人が徴収
給食費（主食費）		保育料の一部として帯広市が徴収		800 円／月を法人が徴収 無償化の対象外	
延長保育料		無償化の対象外			

⑤　新型コロナウイルス感染拡大防止対策の実施

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、地元音更町及び帯広市の要請に基づき、感染拡大防止対策を実施した。

○　令和 2 年 2 月 27 日（木）から 3 月 4 日（水）までの間

北海道の小中学校臨時休業措置を踏まえ、保育施設においても対応の要請があったことから、保護者に対し、登園の自粛、検温等健康管理の協力要請を行った。

○　令和２年３月５日（木）から24日（火）までの間

その後の小・中・高等学校の全国一斉臨時休業、北海道「新型コロナウイルス緊急事態宣言」を踏まえ、あらためて協力要請があったことから、保護者に対して再度の協力要請を行った。

○　令和２年３月25日（水）から令和２年３月31日（火）（帯広市の限定保育は、４月７日（火）まで）の間

地元音更町及び帯広市の要請に基づき、感染拡大防止に向けた当面の協力要請を行った。

○　利用料（保育料）及び給食費の還付

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和２年３月２日から31日までの間において、登園の自粛により家庭保育の協力をお願いした家庭に対し、登園自粛日数に応じ、利用料及び給食費の還付を行った。

区　　分	利　用　料	給食費（副食費）	給食費（主食費）	計
木野南保育園	0円	153,360円	31,872円	185,232円
宝来こども園	321,310円	169,502円	39,367円	530,179円
鈴蘭保育園	0円	142,920円	30,304円	173,224円
おひさま保育園	0円	86,220円	21,088円	107,308円
下士幌へき地保育所	0円	7,200円	1,440円	8,640円
計	321,310円	559,202円	124,071円	1,004,583円

※　木野南・鈴蘭・おひさま・下士幌の利用料（0～2歳児分）は、音更町又は帯広市から還付

○　登園自粛率

利用料及び給食費の還付対象期間（令和２年３月２日から31日までの間）における登園自粛率は、次のとおりである。

区　　分	園児数	園児数に応じた開園延日数	通園日数	登園自粛日数	登園自粛率	摘　要
木野南保育園	131人	3,275日	1,901日	1,374日	42.0%	
宝来こども園	169日	4,059日	2,374日	1,685日	41.5%	1号・一時含む。
鈴蘭保育園	160人	4,000日	2,480日	1,520日	38.0%	
おひさま保育園	105人	2,625日	1,565日	1,060日	40.4%	
下士幌へき地保育所	7人	175日	95日	80日	45.7%	
計	572人	14,134日	8,415日	5,719日	40.5%	

⑥　通常保育

○　平成31年４月１日から、宝来こども園における「0歳児保育」について、産後８週経過後の乳児を受入れの対象とした。

○　４園は、入所待機状況の解消等保育ニーズに対応するため、国の「保育所への入所円滑化対策要綱」に基づき、当法人として、２割の範囲内において定員を超えた保育を行った。令和元年度の年間平均入所児童数の概要は、次のとおりである。（附属明細書10－（3）参照）

５園全体で見ると、利用定員の79人増により、すべての年齢児において増加しており、特に、1歳児が12.08人、2歳児で7.33人、3歳児で12.00人の増となった。

区　　分	木野南保育園	宝来こども園	鈴蘭保育園	おひさま保育園	下士幌へき地保育所	計
利用定員	120.00人	170.00人	140.00人	90.00人	19人	539.00人
令和元年度	130.58人	166.92人	160.92人	102.67人	6.75人	567.83人
平成30年度	130.50人	142.25人	153.75人	100.25人	0.00人	526.75人
差　引	0.08人	24.67人	7.17人	2.42人	6.75人	41.08人

※端数処理のため、計算値が合致しない場合がある。

⑦　障がい児保育

○　支援を必要とする児童の数は増加の傾向にあり、年間平均利用児童数は、全体で46.08人、対前年度比6.50人の増となり、特児相当児童は3.50人の減となったものの、その他の児童が10.00人の増となった。（附属明細書10－（4）参照）

⑧　延長保育

○　標準時間利用児童の利用回数は、鈴蘭保育園及びおひさま保育園において減少した一方、木野南

保育園において大幅に増加した。また、利用時間帯において、午後 6 時 30 分までの利用が減少した一方、午後 7 時までの利用が増加した。さらに、利用料免除対象児童の利用回数が増え、所得水準が比較的低い世帯の利用が増加しているといえる。

○　短時間利用児童の利用回数は、特におひさま保育において大幅に増加した。

⑨　休日保育

○　年間延べ利用児童数は 26 人の増となり、4 歳・5 歳児は減少したものの、1 歳児及び 3 歳児の利用が大幅に伸びた。今後も雇用環境の変化と共に利用が増加していくものと考える。(附属明細書 10－（6）参照)

○　平成 31 年 4 月 28 日から令和元年 5 月 6 日までの大型ゴールデンウイーク期間中においては、利用者の急増が予想されたことから、当法人の保育士に加え、音更町立保育園等他の保育施設から保育士の派遣を受けて休日保育を行った。

区　　分	4／28	4／29	4／30	5／1	5／2	5／3	5／4	5／5	5／6	計
利用園児数（人）	8	17	20	21	24	15	17	10	11	143
保育士数（人）	4	7	7	7	9	8	8	6	7	63
うち他の法人からの派遣（人）		3	3	2	2			2	2	14

⑩　病児保育（病後児型）

○　平成 31 年 4 月から宝来こども園に移行して事業を行っている。実利用者は増加したものの、年間の延べ利用児童数は減少した。疾病の種類や流行の度合いにより利用は大きく変化すると思われるが、他の医療機関が開設している病児型とともに、子育て家庭を支援する事業として利用が進むと考える。(附属明細書 10－（7）参照)

⑪　一時預かり事業（一般型、鈴蘭保育園）

○　年間延べ利用児童数は 86 人、8.8%の増となった。利用形態においては 1 日コースで 88 人、23.4%の増、利用の理由においては私的理由による利用が大幅に減少したが、就労、求職等の非定型型が 188 人、58.4%の大幅な増となっており、子育て家庭の事情に応じて重要な役割を果たしていると考える。(附属明細書 10－（8）－①参照)

⑫　一時預かり事業（幼稚園Ⅰ、宝来こども園）

○　宝来こども園の 1 号認定の児童の延長保育にほぼ相当する事業であり、平成 31 年 4 月からの新規事業であるため、前年度との比較はできないが、年間延べ利用者数は 669 人、うち 9 割を超える 619 人が平日の利用であった。

⑬　地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）

○　「すずらん」、「きの」双方においては、相談件数やプレイルームの利用、また、各種事業参加者において利用が減少している。これは、児童数そのものが減少しているのに加え、子ども・子育て支援新制度の下で多様な保育基盤が整備されてきているほか、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和 2 年 2 月末からセンターを利用できない期間が長く続いたことが要因と考えられる。（附属明細書 10－（9）参照)

○　しかしながら、子育てに関する相談や情報交換、交流促進に重要な役割を果たしており、地域の子育てを支援する事業として、今後とも、他の子育て支援センターとの連携の下でより効果的な事業展開が期待されている。

⑭　養育支援訪問事業

○　訪問対象家庭数、延べ訪問回数の双方で利用が減少したが、今後とも、音更町の保健センターと連携し、子育てに不安を抱える家庭に寄り添いながら、必要な助言、情報提供等を行うことにより、子どもの健全な育ちを支援する必要がある。(附属明細書 10－（10）参照)

⑮　その他の保育に関する活動

○　「年間行事等」、「園長会議及び園長・副園長・主任会議」、「研修会の開催及び参加」については、附属明細書（10－（11）～（13））のとおりである。

○　保育士等のスキルアップを図り、より質の高い保育活動につなげるため、専門研修をはじめ、各種の研修、講座、研究大会への参加を促進するとともに、自主研修の参加促進にも取り組んでいる。なお、公定価格における「処遇改善等加算Ⅱ」の加算のために至近年次において必須化が想定されているキャリアアップ研修の受講を進めており、令和元年度における受講状況（延べ人数）は次のとおりである

乳児保育	幼児教育	障がい児保育	食育・アレルギー	保健衛生・安全対策	保護者支援・子育て支援	マネージメント	計
8 人	2 人	1 人	13 人	11 人	15 人	9 人	59 人

⑯　地域における公益的な取組その他社会貢献活動

○　社会福祉法人制度の改革の一つとして論議されているのが「地域における公益的な取組」であり、このことが税制上の非課税の根拠となっており、言い換えれば「社会福祉法人の存在意義」ともされている。特に、社会福祉法の規定に基づき地域公益活動を広く周知することが求められており、当法人としても、「地域住民に対する福祉教育」、「地域の関係者とのネットワークづくり」の分野における取組について明らかにするものである。（附属明細書 10～（14）参照）

○　音更町内に存する社会福祉法人の相互の連携・協力の下、公益活動の一環として地域福祉の実践をより一層推進するとともに、各構成法人の円滑な運営に資する取組を協議することを目的とし、音更町社会福祉協議会を中心に「音更町社会福祉法人連絡会」が設立され、地域交流活動の実施に向けた検討が始まっている。

・　構成法人等：社協、柏寿協会、晩成園、元気の里、更葉園、手稲ロータス、地域で一緒に暮らそう会、帯広大谷学園、大谷菩提樹会、音更町

3　職員の体制及び処遇改善

（1）職員体制

○　退職に伴う欠員補充のほか、教育・保育の充実等に対応するため、次のとおり職員採用試験を行った。令和 2 年 4 月 1 日に向けた職員採用試験等の応募、採用状況は、次のとおりである。

試　験　日	区　分	募　集	応　募	採　用
R 元・9・24	第 1 次新規採用	正 2 人・月額 2 人	正 3 人	正 3 人（学生）
同	内部昇格登録試験	―	月額→正 1 人 パート→正 1 人	正 2 人
R 元・11・25	第 2 次新規採用	正 2 人・月額 2 人	正 1 人	正 1 人（学生）
R 元・12・19	第 3 次新規採用	正 2 人・月額 2 人	応募者なし	
R2・1・23	第 4 次新規採用	正 2 人・月額 1 人	正 1 人	正 1 人
計				新規採用　正 5 人 内部昇格　正 2 人

○　音更大谷幼稚園の運営の現状に鑑み、学校法人帯広大谷学園からの要請に基づき、「職員の出向に関する協定」を締結した上で、2 年間に限り、主任職を含む 3 人の保育士（正規職員）を出向させた。

・　協定締結の日　平成 31 年 3 月 28 日
・　出向の形式　在籍出向（帯広大谷学園においては、併任発令）
・　出向期間　平成 31 年 4 月 1 日から平成 33 年（令和 3 年）3 月 31 日まで
・　出向職員の数　3 人以内
・　経費の負担　帯広大谷学園は、大谷菩提樹会が支給した給与等を負担金として納付する。

○　令和元年度末（令和 2 年 3 月 1 日現在）の職員数は、嘱託医を除き、正規職員 66 人（対前年度比 8 人増）、月額臨時職員 8 人（対前年度比 5 人減）、臨時職員 121 人（パート職員、対前年度比 12 人増）、計 195 人（対前年度比 15 人増）となった。（附属明細書 5 参照）

○　令和元年度末の障がい者雇用は、平成 30 年度末に 1 人が退職したことから 3 人となり、令和元年 6 月 1 日現在の雇用率は、法定雇用率 2.20%に対して 2.79%である。なお、法定雇用率は、令和 3 年 4 月 1 日までには 2.30%に引き上げられる予定である。

○　新型コロナウイルス感染拡大防止対策として実施された小中学校の臨時休業、幼稚園、保育所等の登園自粛に伴い子どもを家庭内で養育するため休業するパート職員を含む職員のすべてに対し、災害休暇（有給）を認めることとした。

○　定年後の再雇用については、就業規則等に基づき実施することとしているが、再雇用職員の雇用手続、労働条件等を明文化することにより、組織活力を維持しつつ、高年齢職員が長年培った経験と専門的知識を有効に発揮できるよう効果的な運用を図ることを目的に規程を整備した。

（2）職員の処遇改善

① 給与改定

令和元年度分として算定された施設型給付費における「処遇改善等加算Ⅰ」の一部を財源とし、平成 31 年 4 月 1 日に遡及して給与改定を行った。

○ 対象職員　正規職員 66 人、月額臨時職員 8 人、計 74 人

○ 改定率　　0.50%を基本として引き上げた。

○ 主な職の初任給

区　　分	改　定　後	改　定　前	引　上　額	改　定　率
正規職員（短大卒）	153,300 円	152,500 円	800 円	0.52%
月額臨時職員	151,500 円	150,700 円	800 円	0.53%

② 処遇改善手当の支給

施設型給付費（音更町及び帯広市からの収入）に加算される処遇改善等加算Ⅰ及びⅡを財源とし、支給総額について、これら加算額から令和元年度給与改定分を控除した額を下回らない額とすることを前提に、次のとおり平成 31 年 4 月 1 日に遡及して処遇改善手当を支給した。

（単位：円）

区　　分	支　給　額（年額（月額））			
	処遇改善等加算Ⅰ（手当Ⅰ）		処遇改善等加算Ⅱ（手当Ⅱ）	計
	従　来　分	拡　大　分		
総合園長・園長	480,000（40,000）	192,000（16,000）		672,000（56,000）
副園長・事務長	1,200（100）	184,320（15,360）	478,800（39,900）	664,320（55,360）
主任	1,200（100）	176,640（14,720）	478,800（39,900）	656,640（54,720）
副主任・係長		168,960（14,080）	480,000（40,000）	648,960（54,080）
保育士・保育教諭の職にある正規職員（専門リーダー）				
・経験年数 10 年以上・正規職員 1 年以上		163,200（13,600）	480,000（40,000）	643,200（53,600）
・同・同 1 年未満	1,200（100）		478,800（39,900）	643,200（53,600）
・正規職員 7 年以上 10 年未満	1,200（100）		478,800（39,900）	643,200（53,600）
保育士・保育教諭の職にある正規職員（リーダー）				
・正規職員 3 年以上 7 年未満	416,400（34,700）	163,200（13,600）	63,600（5,300）	643,200（53,600）
・経験年数 7 年以上・正規職員 1 年以上	416,400（34,700）		63,600（5,300）	643,200（53,600）
・同 3 年未満・特に必要な職員	356,400（29,700）		63,600（5,300）	583,200（48,600）
正規職員 3 年未満（その他）	420,000（35,000）			583,200（48,600）
月額臨時職員				
・経験年数 10 年以上・月額臨時 2 年以上		99,840（8,320）	60,000（5,000）	159,840（13,320）
・その他	60,000（5,000）			159,840（13,320）
幼稚園教諭・保育士資格特例取得	30,000			30,000

※「幼稚園教諭・保育士資格特例取得」は、在職中にこれらの免許・資格を特例取得したものに加算することとし、臨時職員（パート職員）に対しても支給するものとする。

・ 「幼稚園教諭の普通免許状に係る所要資格の期限付き特例制度」による幼稚園教諭の普通免許状の取得

・ 「幼稚園教諭免許状を有する者における保育士資格取得特例制度」による保育士資格の取得

③ 休日保育手当の改定

休日保育の利用増に伴い、休日保育に従事する職員の勤務状況や体制確保が難しい状況にあることを踏まえ、平成 31 年 4 月 1 日から支給額を改定（13,000 円／回→15,000 円／回）したほか、平成 31 年 4 月 28 日から令和元年 5 月 6 日までの大型ゴールデンウイーク期間中に限り、その支給額を更に増額（15,000 円／回→18,000 円／回）して支給した。

④ 子の看護休暇の拡大

平成 31 年 4 月 1 日から、小学校就学前の子どもを養育する職員の子育てを支援するため、子の看護休暇の取得可能日数を法人独自に拡大（5 日→10 人、2 人以上 10 日→15 日）した。

4　財政運営の状況

資金収支計算書の数値から見た 6 拠点区分全体の財政運営の状況は、次のとおりである。（附属明細書 10―（15）－①参照）

（1）事業活動による収支

○　収入において対前年度比 89,228 千円の増となった要因は、宝来こども園の開設に伴う入所定員の増、鈴蘭保育園の入所定員の増、下士幌へき地保育所の運営開始に伴うもので、このうち保育事業収入が 71,944 千円の増となった。また、支出が 48,980 千円の増となったのも、同様の要因と考える。

○　事業活動資金収支差額は、対前年度比 40,248 千円増の 34,599 千円となった。

（2）施設整備等による収支

○　平成 30 年度において（仮称）宝来認定こども園建設事業の建物本体工事が完了したことから、収支規模が大幅な減少となった。令和元年度においては、同事業の外構工事、旧宝来保育園園舎解体撤去工事、その他関連工事を実施した。

○　施設整備等資金収支差額は、対前年度比 6,795 千円減の 50,944 千円のマイナスとなった。

（3）その他の活動による収支

○　（仮称）宝来認定こども園建設事業に関連した積立資産の取崩しの減に伴い、収入が 10,141 千円減の 51,690 千円となった一方、積立資産の 7,000 千円の増に伴い、支出が 2,256 千円増の 14,087 千円となった。

○　その他の活動資金収支差額は、対前年度比 12,397 千円減の 37,603 千円となった。

（4）全体の収支

○　当期（令和元年度）資金収支差額は、対前年度比 21,057 千円増の 21,258 千円、前期（平成 30 年度）末支払資金残高が 54,908 千円であったので、当期（令和元年度）末支払資金残高は、対前年度比 21,258 千円増の 76,166 千円となった。

（5）積立資産（附属明細書 10－（15）－②参照）

○　宝来こども園において、（仮称）宝来認定こども園建設事業の外構工事、旧宝来保育園園舎の解体撤去工事等に充てるため 45,500 千円を取り崩した一方で 2,000 千円の積立を行った結果、令和元年度末の 4 区分合計の積立額は 95,700 千円となった。

○　鈴蘭保育園において、施設整備費に新たに 5,000 千円の積立を行った結果、令和元年度末の 4 区分合計の積立額は 243,900 千円となった。

○　令和元年度末の積立資産は、4 拠点区分合計で 38,500 千円減の 555,300 千円となった。

令和元年度社会福祉法人大谷菩提樹会事業報告書附属明細書

1　法人の基本事項

（1）法人名　社会福祉法人大谷菩提樹会

（2）主たる事務所の所在地等

①　所在地　　080-0112　北海道河東郡音更町木野東通 4 丁目 2 番地 1　木野南保育園内

②　電話番号　0155-67-7310（FAX　0155-67-7300）

（3）代表者の氏名等

①　氏　名　伊　藤　　篤

②　住　所　北海道広尾郡広尾町西 1 条 10 丁目 5 番地

③　職　業　真宗大谷派廣縁寺前住職

④　就任年月日（当初）　平成 17 年 2 月 18 日

（4）事業の種類

①　社会福祉法第 2 条第 3 項に規定する第二種社会福祉事業のうち、同項第 2 号に規定する次に掲げる事業を実施した。

事業の種類	施設名・事業所名	所　在　地	事業開始年月日	定員
保育所を経営する事業	木野南保育園	音更町木野東通 4 丁目 2 番地	平成 17 年 4 月 1 日	120 人
	鈴蘭保育園	音更町中鈴蘭元町 2 番地 10	平成 19 年 4 月 1 日	140 人
	おひさま保育園	帯広市東 1 条南 23 丁目 2 番地	平成 22 年 4 月 1 日	90 人
一時預かり事業（一般型）	鈴蘭保育園	（鈴蘭保育園）	平成 19 年 4 月 1 日	8 人／日
同上　　（幼稚園Ⅰ）	宝来こども園	（宝来こども園）	平成 31 年 4 月 1 日	―
病児保育事業（病後児型）	宝来こども園	（宝来こども園）	平成 19 年 4 月 1 日	4 人／日
地域子育て支援拠点事業	子育て支援センターすずらん	（鈴蘭保育園）	平成 19 年 4 月 1 日	―
	きの子育て支援センター	（木野南保育園）	平成 23 年 4 月 1 日	―
養育支援訪問事業	子育て支援センターすずらん きの子育て支援センター	（木野南保育園及び鈴蘭保育園）	平成 29 年 7 月 1 日	―

②　社会福祉法第 2 条第 3 項に規定する第二種社会福祉事業のうち、同項第 2 号の 2 に規定する幼保連携型認定こども園を経営する事業

施　設　名	所　在　地	事業開始年月日	定　　員		
			1 号認定	2･3 号認定	計
幼保連携型認定こども園宝来こども園	音更町宝来仲町南 1 丁目 10 番地	平成 31 年 4 月 1 日	30 人	140 人	170 人

③　公益事業、収益事業及びその他の事業　未実施

2　評議員の状況

令和元年度における評議員の状況は、次のとおりである。

（1）定数及び現員　定数 7 人、現員 7 人

（2）氏名等

氏　　名	住　　所	職　　業	任　　期	摘　要
上　垣　香世子	帯広市東 9 条南 10 丁目 16 番地	会社代表取締役	平成 29 年 4 月 1 日から 4 年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	新任
小　川　賢　一	音更町宝来東町南 1 丁目 10 番地 20	会社代表取締役		新任
小　林　壽　幸	音更町字駒場東 1 線 23 番地	農業		新任
棚　瀬　佳　裕	帯広市西 15 条南 11 丁目 1 番地 41	無		新任
津　島　　朗	音更町字東和 6 番地	農業		新任
利　浪　啓　介	音更町すずらん台仲町 1 丁目 5 番地 1	無		新任
村　瀬　聡　美	音更町宝来仲町北 1 丁目 10 番地 7	保育士		新任

※　任期の始期は、通常の場合は「選任後」であるが、社会福祉法人制度改革により最初に選任された評議員の任期の始期は、「平成 29 年 4 月 1 日」である。

（3）評議員選任等委員会委員の状況

令和元年度における評議員選任等委員会委員の状況は、次のとおりである。

① 定数及び現員

ア 監事の職にある者 定数２人、現員２人

イ 識見を有する者 定数２人、現員２人

② 氏名等

氏　　名	住　　所	職　　業	任　　期	摘　　要
（監事の職にある者）				
河　合　裕　秋 （桂井智善の後任）	音更町緑陽台仲区19番地15	無	平成29年3月24日から平成32年4月1日以降最初に招集される定時評議員会終結の時まで	新任
大　塚　宏　明 （山川幸一郎の後任）	音更町字東音更東5線34番地	農業	平成30年11月21日から平成32年4月1日以降最初に招集される定時評議員会終結の時まで	新任
（識見を有する者）				
比留間　正　二	音更町字下士幌北2線東56番地	農業	平成29年1月16日から平成32年4月1日以降最初に招集される定時評議員会終結の時まで	新任
田　中　厚　一	帯広市西22条南3丁目25番地16	帯広大谷短期大学学長		新任

3 理事の状況

令和元年度における理事の状況は、次のとおりである。

（1）定数及び現員　定数６人、現員６人

（2）氏名等

理事は、令和元年６月27日開催の定時評議員会の終結の時をもって２年の任期が満了となることから、同定時評議員会の承認に基づき次の理事が選任された。

氏　　名	役職	住　　所	職　　業	任　　期	摘要
伊　藤　　篤	理事長	広尾町西1条10丁目5番地	前住職	令和元年6月27日から2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	再任
今　村　　茂	専務理事	音更町雄飛が丘南区12番地3	専務理事		再任
吉　村　典　子	理事	帯広市西18条南3丁目20番10号	無		再任
香　川　俊　雄	理事	帯広市西17条南5丁目69番地6	会社代表取締役会長		再任
桂　井　智　善	理事	音更町字下士幌北2線東41番地	住職		再任
園　部　聡　子	理事	帯広市西16条南1丁目13番地21	総合園長		再任

4 監事の状況

令和元年度における監事の状況は、次のとおりである。

（1）定数及び現員　定数２人、現員２人

（2）氏名等

監事は、理事同様、令和元年６月27日開催の定時評議員会の終結の時をもって２年の任期が満了となることから、同定時評議員会の承認に基づき次の監事が選任された。

氏　　名	住　　所	職　　業	任　　期	摘要
河　合　裕　秋	音更町緑陽台仲区 19 番地 15	無	令和元年 6 月 27 日から 2 年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	再任
大　塚　宏　明	音更町字東音更東 5 線 34 番地	農業		再任

5　職員の状況

令和元年度（令和２年３月１日現在）における職員の状況は、次のとおりである。

区　分	法人本部	木野南保育園	宝来こども園	鈴蘭保育園	おひさま保育園	下士幌へき地	計	H30・3・1	差引
正規職員	(3)	15	16	20	13	2	66	58	8
月額臨時職員	0	0	3	2	3	0	8	13	▲5
臨時職員	0	27	43	28	22	1	121	109	12
計	(3)	42	62	50	38	3	195	180	15
H31・3・1	(3)	43	49	51	37	0	180		
差　引	0	▲1	13	▲1	1	3	15		

6　評議員会の状況

令和元年度における評議員会の開催日、案件及びその結果は、次のとおりである。

区　分	開　催　日	案　　件	結　果
令和元年度第１回（定時評議員会）	令和元年 6 月 27 日（木）	報告第１号　平成 30 年度社会福祉法人大谷菩提樹会事業報告書について	報告済
		第１号議案　平成 30 年度社会福祉法人大谷菩提樹会決算に係る計算書類（案）について	承認
		第２号議案　平成 30 年度社会福祉法人大谷菩提樹会決算に係る財産目録（案）について	承認
		第３号議案　社会福祉法人大谷菩提樹会承認社会福祉充実計画の終了について	承認
		第４号議案　社会福祉法人大谷菩提樹会理事の選任について	承認
		第５号議案　社会福祉法人大谷菩提樹会監事の選任について	承認
		その他　宝来こども園落成式典等記念事業の開催要領について	―

7　理事会の状況

令和元年度における理事会の開催日、案件及びその結果は、次のとおりである。

区　分	開　催　日	案　　件	結　果
第１回	令和元年６月６日（木）	報告第１号　監査報告（平成 30 年度決算関係）	報告済
		第１号議案　平成 30 年度社会福祉法人大谷菩提樹会事業報告（案）について	承認
		第２号議案　平成 30 年度社会福祉法人大谷菩提樹会決算に係る計算書類（案）について	承認
		第３号議案　平成 30 年度社会福祉法人大谷菩提樹会決算に係る財産目録（案）について	承認
		第４号議案　社会福祉法人大谷菩提樹会承認社会福祉充実計画の終了について	承認
		第５号議案　令和元年度社会福祉法人大谷菩提樹会第 1 次補正予算（案）について	承認

区　分	開　　催　　日	案　　件		結　果
		第６号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会理事の候補者の選定について	承認
		第７号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会監事の候補者の選定について	承認
		第８号議案	令和元年度社会福祉法人大谷菩提樹会定時評議員会の招集について	承認
		報告第２号	平成 30 年度保育所等指導監査の結果について	報告済
		報告第３号	社会福祉法人大谷菩提樹会監事監査報告について	報告済
		その他	幼児教育の無償化について	―
第２回	令和元年 6 月 27 日（木）	第１号議案	宝来こども園追加工事に係る請負契約の締結について	承認
		第２号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会理事長の選定について	承認
		第３号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会専務理事の選定について	承認
		第４号議案	利益が相反する取引を行うことについて	承認
		報告第１号	理事長及び専務理事の職務の執行状況について	承認
		その他	宝来こども園落成式典等記念事業の開催要領について	―
第３回	令和元年８月９日（木）	第１号議案	幼児教育・保育の無償化に伴う副食費等の設定について	承認
		第２号議案	令和元年度社会福祉法人大谷菩提樹会第 2 次補正予算（案）について	承認
		報告第１号	社会福祉法人大谷菩提樹会監事監査報告について	報告済
第４回	令和元年９月 26 日（木）	第１号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会保育園の運営に関する規程の一部改正（案）について	承　認
		第２号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会幼保連携型認定こども園の運営に関する規程の一部改正（案）について	承　認
		第３号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会へき地保育所の運営に関する規程の一部改正（案）について	承　認
		第４号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会臨時職員給与規程の一部改正（案）について	承　認
		第５号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会第３次補正予算（案）について	承　認
		報告第１号	理事長及び専務理事の職務の執行状況について	報告済
		報告第２号	寄附金の受入れに関する決定について	報告済
第５回	令和元年 12 月 12 日（木）	報告第１号	理事長及び専務理事の職務の執行状況について	報告済
		協議第１号	各保育園の施設改修計画について	承　認
		第１号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会給与規程の一部改正（案）について	承　認
		第２号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会月額臨時職員給与規程の一部改正（案）について	承　認
		第３号議案	令和元年度社会福祉法人大谷菩提樹会第４次補正予算（案）について	承　認
		協議第２号	再雇用職員の労働条件等について	承　認
		報告第２号	社会福祉法人大谷菩提樹会監事監査報告について	報告済
第６回	令和２年２月 25 日（火）	第１号議案	令和元年度社会福祉法人大谷菩提樹会処遇改善手当の支給に関する規程（案）について	承　認
		第２号議案	令和元年度社会福祉法人大谷菩提樹会第５次補正予算（案）について	承　認
		第３号議案	指名競争入札の執行について	承　認
		報告第１号	社会福祉法人大谷菩提樹会監事監査報告について	報告済

区　分	開　　催　　日	案　　件		結　果
		報告第２号	令和元年度保育所等指導監査結果について	報告済
		その他	令和２年４月１日付けの人事異動の発令について	―
		その他	令和２年度から産業医を設置することについて	―
		その他	新型コロナウイルス感染拡大防止対策について	―
第７回	令和２年３月 17 日（火）	第１号議案	鈴蘭保育園電気設備改修工事に係る指名競争入札の予定価格について	承　認
		第２号議案	鈴蘭保育園電気設備改修工事に係る請負契約の締結について	承　認
		報告第１号	新型コロナウイルス感染拡大防止対策について	報告済
		その他	次回の理事会の開催について	―
第８回	令和２年３月 24 日（火）	第１号議案	令和元年度社会福祉法人大谷菩提樹会第６次補正予算（案）について	承　認
		第２号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会保育園の運営に関する規程の一部改正（案）について	承　認
		第３号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会幼保連携型認定こども園の運営に関する規程の一部改正（案）について	承　認
		第４号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会へき地保育所の運営に関する規程の一部改正（案）について	承　認
		第５号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会就業規則の一部改正（案）について	承　認
		第６号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会育児休業、介護休業等に関する規程の一部改正（案）について	承　認
		第７号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会再雇用職員の雇用手続、労働条件等に関する規程（案）について	承　認
		第８号議案	社会福祉法人大谷菩提樹会職員安全衛生管理規程（案）について	承　認
		第９号議案	令和２年度社会福祉法人大谷菩提樹会事業計画（案）について	承　認
		第 10 号議案	令和２年度社会福祉法人大谷菩提樹会予算（案）について	承　認
		報告第１号	理事長及び専務理事の職務の執行状況について	報告済
		報告第２号	寄附の受入れに関する決定について	報告済

８　監査の状況

令和元年度における監事監査、公認会計士監査及び関係機関指導監査の状況は、次のとおりである。

実　施　日	事　　項	監　査　人
（監事監査）		
H31・4・24（水）	中期監査（平成 31 年 1～3 月分）	河合監事・大塚監事
R元・5・15（水）	平成 30 年度決算監査	同上
R元・5・31（金）	同（事業報告、社会福祉充実計画）	同上
R 元・8・5（月）	中期監査（令和元年 4～6 月分）	同上
R 元・10・24（木）	同（令和元年 7～9 月分）	同上
R2・1・31（金）	同（令和元年 10～12 月分）	同上

実　施　日	事　　項	監　査　人
（公認会計士監査）		
H31・4・3（水）	現金実査	多屋勝範公認会計士
R元・5・20（月）	平成30年度決算監査	同上
R元・5・21（火）	同	同上
R元・9・9（月）	期中監査（令和元年度）	同上
R元・12・10（火）～11（水）	同（令和元年度）	同上
R2・1・17（金）	同（令和元年度）	同上
R2・3・19（木）	同（令和元年度）	同上
（関係機関監査）		
R元・10・18（金）	宝来こども園整備事業現地監査	大道・佐藤音更町監査委員
R元・12・16（金）	令和元年度指導監査（鈴蘭保育園・木野南保育園）	北海道十勝総合振興局・音更町
R2・1・15（水）	同（宝来こども園）	同・同
R2・2・13（木）	同（おひさま保育園）	同・帯広市

9　評議員選任等委員会の状況

令和元年度における評議員選任等委員会の開催はなかった。

10　事業等の概要

（1）教育・保育課程の編成

法人が運営する各保育園（所）及び幼保連携型認定こども園は、国が定めた保育所保育指針及び教育・保育要領に基づく教育・保育目標を達成するため、その基本となる教育・保育課程（P29）を編成し、運営を行っている。

（2）教育・保育の実施内容

各園が実施した教育・保育の内容は、次のとおりである。

区　分	通　常	乳　児	障がい	延　長	休　日	一　時	病後児	支援センター	養育支援
木野南保育園	○	○	○	○	○			○	○
宝来こども園	○	○	○	○		○	○		
鈴蘭保育園	○	○	○	○		○		○	○
おひさま保育園	○	○	○	○					
下士幌へき地保育所	○	○	○	○					

（3）入所状況

令和元年度における年齢児別入所状況は、次のとおりである。

【木野南保育園　定員：2号・3号認定120人】　（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均	H30	差引
0歳	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	91	7.58	9.83	▲2.25
1歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	18.00	15.58	2.42
2歳	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252	21.00	24.67	▲3.67
3歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360	30.00	24.42	5.58
4歳	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324	27.00	27.00	0.00
5歳	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324	27.00	29.00	▲2.00
計	130	130	130	130	130	131	131	131	131	131	131	131	1.567	130.58	130.50	0.08
障	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	12.00	9.92	2.08

【宝来こども園　定員：1 号認定 30 人、2 号・3 号認定 140 人、計 170 人】

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計	平均	H30	差引
0 歳	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	143	11.92	4.92	7.00
1 歳	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252	21.00	15.00	6.00
2 歳	22	22	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	273	22.75	18.00	4.75
3 歳	37	37	37	37	37	37	36	36	36	36	38	38	442	36.83	33.33	3.50
4 歳	33	33	33	34	34	34	34	34	34	34	34	34	405	33.75	36.00	▲2.25
5 歳	39	40	40	41	41	41	41	41	41	41	41	41	488	40.67	35.00	5.67
計	163	165	165	168	168	168	167	167	167	167	169	169	2,003	166.92	142.25	24.67
障	15	15	15	15	15	15	14	15	15	15	17	17	183	15.25	14.25	1.00

【鈴蘭保育園　定員：2 号・3 号認定 140 人】

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計	平均	H30	差引
0 歳	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120	10.00	10.00	0.00
1 歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	18.00	18.00	0.00
2 歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360	30.00	23.75	6.25
3 歳	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	33	407	33.92	34.00	▲0.08
4 歳	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	408	34.00	34.00	0.00
5 歳	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	420	35.00	34.00	1.00
計	161	161	161	161	161	161	161	161	161	161	161	160	1,931	160.92	153.75	7.17
障	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	11	11	118	9.83	9.42	0.41

【おひさま保育園　定員：2 号・3 号認定 90 人】

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計	平均	H30	差引
0 歳	4	3	3	3	6	7	8	8	8	8	9	9	76	6.33	9.08	▲2.75
1 歳	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	15.00	12.33	2.67
2 歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	18.00	18.00	0.00
3 歳	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	256	21.33	21.33	0.00
4 歳	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264	22.00	18.33	3.67
5 歳	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	20.00	21.17	▲1.17
計	101	100	100	100	102	103	104	104	104	104	105	105	1,232	102.67	100.25	2.42
障	8	8	8	8	8	8	10	10	10	10	10	10	108	9.00	6.00	3.00

【下士幌へき地保育所　定員：2 号・3 号認定 19 人】

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計	平均	H30	差引
0 歳	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	0.75	0.00	0.75
1 歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.00	0.00	1.00
2 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
3 歳	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3.00	0.00	3.00
4 歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.00	0.00	1.00
5 歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.00	0.00	1.00
計	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	81	6.75	0.00	6.75
障	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00

【計　定員：1号認定30人、2号・3号認定509人、計539人】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均	H30	差引
0歳	32	32	32	33	36	38	39	39	39	39	40	40	439	36.58	33.83	2.75
1歳	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	876	73.00	60.92	12.08
2歳	91	91	91	92	92	92	92	92	92	92	92	92	1,101	91.75	84.42	7.33
3歳	126	126	126	126	125	125	124	124	124	124	126	125	1,501	125.08	113.08	12.00
4歳	117	117	117	118	118	118	118	118	118	118	118	118	1,413	117.75	115.33	2.42
5歳	122	123	123	124	124	124	124	124	124	124	124	124	1,484	123.67	119.17	4.50
計	561	562	562	566	568	570	570	570	570	570	573	572	6,814	567.83	526.75	41.08
障	44	44	44	44	45	45	46	47	47	47	50	50	553	46.08	39.58	6.50

※　各月の入所者数は、初日の在籍園児数である。

※　「平均」は、端数処理のため、「計」の計算値が合致しない場合がある。

※　「障」は、計のうち「障がい児」の数である。

（4）障がい児保育の状況

令和元年度における障がい児保育の利用状況は、次のとおりである。

（単位：人）

区分		木野南	宝来	鈴蘭	おひさま	下士幌	計	H30	差引
R元	特児相当児童	3.00	8.08	4.00	2.58	0.00	17.67	21.17	▲3.50
	その他	9.00	7.17	5.83	6.42	0.00	28.42	18.42	10.00
	計	12.00	15.25	9.83	9.00	0.00	46.08	39.58	6.50
H30	特児相当児童	7.92	9.25	3.00	1.00	0.00	21.17		
	その他	2.00	5.00	6.42	5.00	0.00	18.42		
	計	9.92	14.25	9.42	6.00	0.00	39.58		
差引	特児相当児童	▲4.92	▲1.17	1.00	1.58	0.00	▲3.50		
	その他	7.00	2.17	▲0.59	1.42	0.00	10.00		
	計	2.08	1.00	0.41	3.00	0.00	6.50		

※　入所児童数は、年間の平均値である。従って、端数処理のため、「計」の計算値が合致しない場合がある。

※　「おひさま保育園」について、「特児相当児童」とあるのは「障がい児保育実施児童」と、「その他」とあるのは「要支援認定児童」とする。

（5）延長保育の状況

令和元年度における延長保育の利用状況は、次のとおりである。

①　標準時間

（単位：回）

区分		木野南	宝来	鈴蘭	おひさま	下士幌	計	H30	差引
R元	18：00～18：30	3,375	2,180	4,079	657	0	10,291	10,550	▲259
	18：30～	1,060	963	1,514	345	0	3,882	3,694	188
	免除利用回数	534	361	120	139	0	1,154	685	469
H30	18：00～18：30	2,866	2,148	4,769	767	0	10,550		
	18：30～	890	764	1,704	336	0	3,694		
	免除利用回数	160	217	60	248	0	685		
差引	18：00～18：30	509	32	▲690	▲110	0	▲259		
	18：30～	170	199	▲190	9	0	188		
	免除利用回数	374	144	60	▲109	0	469		

② 短時間

（単位：円）

区分		木野南	宝来	鈴蘭	おひさま	下士幌	計	H30	差引
R元	利用延人数	106	177	68	245	0	596	388	208
	免除利用回数	0	0	18	9	0	27	53	▲26
H30	利用延人数	129	198	40	21	0	388		
	免除利用回数	0	0	18	35	0	53		
差引	利用延人数	▲23	▲21	28	224	0	208		
	免除利用回数	0	0	0	▲26	0	▲26		

（6）休日保育の状況

令和元年度における休日保育の利用状況は、次のとおりである。

（単位：人）

区分	R元	H30	差引
1歳児	109	35	74
2歳児	74	73	1
3歳児	92	30	62
4歳児	45	145	▲100
5歳児	134	145	▲11
計	454	428	26
利用料（2,000円区分）	1	0	1
同　（1,000円区分）	0	0	0
同　（無料区分）	453	428	25

※　上記の利用は、「就労（児童の保護者の就労形態等により家族における保育が断続的に困難となる場合）」によるものである。

（7）病児保育の利用状況

令和元年度における病児保育（病後児型）の利用状況は、次のとおりである。

（単位：人、日、%）

区分	R元	H30	差引
延べ利用者数	174	191	▲17
うち自園（宝来こども園）分	63	49	14
実利用者数	58	56	2
稼働日数	122	113	9
稼働率	50.6	46.5	4.1
1日当たりの利用者数	1.43	1.69	▲0.26

（8）一時預かりの利用状況

令和元年度における一時預かりの利用状況は、次のとおりである。

① 一般型：鈴蘭保育園

（単位：人）

区分	R元	H30	差引
延べ利用者数	1,061	975	86
うち助成対象	69	135	▲66
1日コース	464	376	88
午前コース	542	565	▲23
午後コース	55	34	21
うち延長分	465	456	9
①非定型型（就労、求職等）	510	322	188
②緊急（疾病、事故等）	40	45	▲5
③私的理由（リフレッシュ等）	511	608	▲97

② 幼稚園Ⅰ：宝来こども園　（単位：人）

区分		R元	H30	差引
延べ利用者数		669	0	669
内訳	平日	619	0	619
	長期休業（8ｈ未満）	46	0	46
	長期休業（8ｈ以上）	0	0	0
	休日（土曜日）	4	0	4

（9）地域子育て支援拠点事業の利用状況

令和元年度における地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）の利用状況は、次のとおりである。

（単位：件、人、日）

区分		すずらん（鈴蘭保育園）			きの（木野南保育園）		
		R元	H30	差引	R元	H30	差引
相談状況	電話相談	26	28	▲2	13	1	12
	プレイルーム開放時	119	227	▲108	155	166	▲11
	出張広場、子育て相談日その他	13	16	▲3	1	13	▲12
	計	158	271	▲113	169	180	▲11
相談内容分類	A 基本的生活習慣	41	75	▲34	33	61	▲28
	B 発育・発達	16	54	▲38	31	36	▲5
	C 医学的問題	14	20	▲6	15	28	▲13
	D 生活環境	75	112	▲37	56	32	24
	E 育児方法	11	5	6	21	12	9
	F その他	1	5	▲4	13	11	2
	計	158	271	▲113	169	180	▲11
（プレイルーム利用状況）							
利用者数	子ども・0歳	613	1,099	▲486	963	1,063	▲100
	1歳	544	978	▲434	880	1,458	▲578
	2歳	508	484	24	606	790	▲184
	3歳	163	286	▲123	208	356	▲148
	4歳	62	110	▲48	68	165	▲97
	5歳以上	41	46	▲5	53	40	13
	小計	1,931	3,003	▲1,072	2,778	3,872	▲1,094
	大人	1,806	2,729	▲923	2,443	3,226	▲783
	計	3,737	5,732	▲1,995	5,221	7,098	▲1,877
新規	子ども	157	253	▲96	177	256	▲79
	大人	140	220	▲80	155	209	▲54
	計	297	473	▲176	332	465	▲133
各種事業		1,970	2,501	▲531	3,312	3,860	▲548
		親子遊びの広場・育児講習会・法人合同企画・すくすくtouch・たまごの日・ピヨピヨの日・たま&ピヨ・よちよちの日・ほっこり開放・デビューの日・カンガルーの日・ボランティアの日・子育て相談の日・母乳相談の日・身体測定・地域交流・おめでとう会・音更町合同事業			親子遊びの広場・ミニミニ講座・法人合同企画・育児講習会・すくすくtouch・相談の日・ピヨピヨの日・バンビの日・キリンの日・おたまじゃくしの日・カエルの日（ひびき野）・日曜開放（きのっこサンデー）・音更町合同事業		

（10）養育支援訪問事業の利用状況

令和元年度における養育支援訪問事業の利用状況は、次のとおりである。

（単位：人、回）

区　　分	訪問対象者数			延訪問回数		
	R元	H30	差引	R元	H30	差引
木野南保育園（子育て支援センター）	0	5	▲5	0	10	▲10
鈴蘭保育園（同）	1	2	▲1	2	5	▲3
計	1	7	▲6	2	15	▲13

（11）年間行事等（各園共通）

① 年間行事　入・卒園式、園外保育、誕生会、保育園子どもの日、お泊り会（年長）、2 園交流会、夏まつり、運動会、動物園見学、遠足、サッカー指導（年長）、発表会、餅つき、クリスマス、雪中運動会、氷まつり見学、豆まき、ひなまつり、お別れ会、その他

② 英　語　年少・年中・年長、4～2 月の間で 10 回

③ 習　字　年長、4～2 月の間で 10 回

④ 水　泳　年長、4～10 月の間で 5 回

（12）「園長会議」及び「園長・副園長・主任会議」

毎月 1 回定例会議を開催。必要に応じて随時開催

（13）研修会等の開催及び参加

① 法人役員・法人本部職員

日程等	主催機関・団体	研　修　内　容	参加者
R元・7・22	北海道社会福祉法人経営者協議会	北海道社会福祉法人経営者協議会総会及び法人経営者セミナー	伊藤
R元・10・30	北海道社会福祉協議会 北海道社会福祉法人経営者協議会	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会	今村・河合・中
R2・2・17	北海道社会福祉法人経営者協議会	北海道社会福祉法人経営者協議会第 2 回総会及び社会福祉法人経営者実務セミナー	今村

② 保育士、保育教諭等（自主研修を含む。）

日程等	主催機関・団体	研　修　内　容	参加者
各園・毎月 1 回	（大谷菩提樹会）	行事の確認、ケース報告、保育内容についての検討等	
H31・4・4	（大谷菩提樹会）	新任研修会	新規採用職員（正規職員）
R 元・5～10	（大谷菩提樹会）	4 園交流実習	髙田、池田、伊藤、森本、千葉
R元・5・11～12	北海道保育協議会	キャリアアップ研修専門分野別研修①（乳児保育）	鳥井、芳賀、山田、阿部、大西、小川、上田、石川
R元・5・16～17	北海道社会福祉協議会	新任保育士等研修①	岡田、伊藤、近藤
R 元・5・17～9・26	（大谷菩提樹会）	時間内研修	木野南 13 人、宝来 16 人、鈴蘭 18 人、おひさま 13 人、下士幌 2 人
R 元・6・5～6	北海道社会福祉協議会	新任保育士等研修②	佐藤

日程等	主催機関・団体	研　　修　　内　　容	参加者
R元・6・8～9	北海道保育協議会	キャリアアップ研修専門分野別研修④（食育アレルギー対応）	山田、菅田、柳谷、中西、池田、伊藤、神林、酒井、石川、千葉
R元・6・11～13	全国私立保育園連盟	第 62 回全国私立保育園研究大会熊本市大会	園部、河瀬
R元・7・4～5	北海道社会福祉協議会	保育士等専門研修①	髙田、境田
R元・7・6	第 44 回全道保育団体合同研究集会実行委員会	第 44 回全道保育団体合同研究集会	芳賀
R元・7・27～28	北海道保育協議会	キャリアアップ研修専門分野別研修⑥（保護者支援・子育て支援）	窪
R元・7・31～8・1	日本幼年教育研究会	サマースクール	吉田、田中、窪、岩崎、三浦
R元・8・3～4	北海道保育協議会	キャリアアップ研修専門分野別研修⑤（保健衛生・安全対策）	芳賀、山田、池田、塚本、境田、加藤、中村、佐々木、児玉、千葉、小泉
R元・8・3～5	全国保育団体合同研究集会実行委員会	第 51 回全国保育団体合同研究集会 in 愛知	香田、柳谷、長田、遠藤、須田
R元・8・8	チャイルド社	チャイルドサマーセミナー	鳥井
R元・8・9	北海道社会福祉協議会	地域子育て支援拠点事業職員研修	篠原
R元・8・19～20	北海道保育協議会	保育施設長セミナー	中
R元・8・23	帯広私立保育園連絡協議会	公私立園長会研修会	河瀬
R元・8・24～25	北海道保育協議会	キャリアアップ研修専門分野別研修②（幼児教育）	池田、中山
R元・8・29～30	北海道社会福祉協議会	乳児保育担当保育士等研修①	石川
R元・9・3	北海道保育協議会	広報部会会議	園部
R元・9・9～10	北海道保育協議会	第 53 回全道保育士等研究集会	小川、大西
R元・9・14～15	北海道保育協議会	キャリアアップ研修専門分野別研修④（食育アレルギー対応）	渡部
R元・9・19～20	北海道社会福祉協議会	主任保育士等研修①	香田
R元・9・26～27	帯広保育士会	第 62 回帯広保育士研修会	木野南 8 人、宝来 15 人、鈴蘭 12 人、おひさま 5 人、下士幌 2 人
R元・9・28～29	北海道保育協議会	キャリアアップ研修専門分野別研修③（障害児保育）	伊豆倉
R元・10・5～6	北海道乳幼児療育研究会	第 33 回研究大会	山田、益子
R元・10・5～6	北海道保育協議会	キャリアアップ研修専門分野別研修⑥（保護者支援・子育て支援）	鳥井、芳賀、柳谷、長田、池田、塚本、伊藤、神林、酒井、千葉、児玉、妹尾
R元・10・12～13	北海道保育問題研究協議会	北海道保育問題研修会全道集会	木野南 6 人、宝来 7 人、鈴蘭 6 人、おひさま 9 人、下士幌 1 人
R元・10・25	全国私立保育園連盟北海道・東北ブロック	北海道・東北ブロック役員及び道東 3 地区園長会	河瀬、須田
R元・11・9～10	北海道保育協議会	キャリアアップ研修（マネージメント）	鳥井、窪、渡部、後藤、神林、松田、小川、上田、酒井

日程等	主催機関・団体	研　　修　　内　　容	参加者
R 元・11・15	帯広私立保育園連絡協議会	園長・主任交流会	河瀬
R 元・11・28～29	日本子ども子育て支援センター連絡協議会	第 10 回子ども・子育て支援全国研究大会 in 山梨	篠原
R元・12・11～12	北海道社会福祉協議会	乳児保育担当保育士等研修②	辻、赤前、妹尾
R 元・12～R2・2	（大谷菩提樹会）	園長･主任･副主任意見交換会(3 回)	各園の園長・主任・副主任
R2・1・18～19	北海道保育協議会	キャリアアップ研修専門分野別研修⑥（保護者支援・子育て支援）	池田
R2・2・2	（大谷菩提樹会）	5 園合同職員研修会 職員表彰 11 件 講演：蘭越町光福寺住職金石晃陽氏	146 人参加
R2・2・15～16	北海道保育協議会	キャリアアップ研修専門分野別研修④（食育アレルギー対応）	伊藤、阿部
R2・2・22～23	北海道保育協議会	キャリアアップ研修専門分野別研修⑥（保護者支援・子育て支援）	伊豆倉

（14）地域における公益的な取組その他社会貢献活動

① 社会福祉法第 24 条第 2 項の規定による「地域における公益的な取組」については、「法の責務規定の趣旨を踏まえつつ、支援が必要な者が直接的のみならず、間接的に利益を受けるサービスや取組についても、一定の範囲で対象に含める。」という弾力的な取扱いがされているところである。

当法人としの主な取組は、次のとおりである。

取組の名称	区　域	取　組　の　内　容
【地域住民に対する福祉教育】		
保育環境構成の専門家を招き、福祉に関する講演会を開催	音更町、帯広市	地域の保育士の一層の専門性と質の向上を図り、より質の高い保育を展開することを目的とし、講演会を開催。法人主催であるが、自治体や他法人からも多数の参加があった。
地域の小中学校との交流による福祉教育活動	音更町、帯広市	地域の小学校への園児の訪問や小学校の訪問受入による交流や、地域の中学校の職業体験受入による福祉教育活動に取り組んだ。
実習生や研修生の受入を通した関係機関とのネットワーク構築	音更町、帯広市	地域の高校生のインターンシップによる研修受入や、保育士養成機関からの実習生受入、また誕生会等の行事での学生サークルの人形劇公演の実施等により、関係機関とのネットワークづくりを行った。
【地域の関係者とのネットワークづくり】		
幼保小中連携ネットワークへの参加	音更町、帯広市	小中学校を起点に幼保小中、発達支援センターの教職員による会議や研修会への参加。子どもの姿や家庭環境等を伝え合うネットワークの構築を行った。
地域の老人施設等への訪問を通したネットワークの構築	音更町	保育園の園児が老人施設を訪問し、歌や劇、太鼓演奏等を披露したり、わらべ歌遊びで触れ合う等の交流を行い、関係者とのネットワークづくりを行った。
行事への老人施設入所者等の来訪を通したネットワークの構築	音更町、帯広市	運動会に地域の老人施設入所者等、また、夏まつりに地域の踊りや保存会の方、卒園製作の手伝いに地域ボランティアの方、また、紙芝居や手づくりおもちゃ等の地域サークルの方に来ていただく等ネットワークづくりを行った。
園主催の文化行事等に他の保育教育施設利用者を招くネットワーク活動	音更町、帯広市	主催の交通安全教室や観劇、コンサート、民族芸術鑑賞、獅子舞等に地域の保育・教育施設の利用者に一緒に参加いただき、関係者とのネットワークづくりを行った。
子育て支援センターでの土曜、日曜開放を開催	音更町	園併設の子育て支援センターで土日に地域開放を行い、園庭を開放したり、親子での遊びを体験していただいたり、地域の子育て家庭とのネットワークづくりを行った。
地域の町内会への参加によるネットワークづくり	音更町	地域の町内会の総会や老人会総会、清掃や花見に職員が参加する等による地域とのネットワークづくりを行った。

② その他社会貢献活動は、別紙（P31）のとおりである。

（15）令和元年度決算の概要

① 令和元年度決算（資金収支）の概要は、次のとおりである。

【法人本部】

（単位：円）

区分		R元	H30	差引	摘要
事業活動による収支	収入	62,032	42,660	19,372	
	うち保育事業収入	0	0	0	
	支出	7,476,042	7,522,501	▲46,459	
	うち人件費支出	4,041,962	4,044,168	▲2,206	
	事業活動資金収支差額	▲7,414,010	▲7,479,841	65,831	
施設整備等による収支	収入	0	0	0	
	支出	550,000	0	550,000	
	施設整備等資金収支差額	▲550,000	0	▲550,000	
その他の活動による収支	収入	6,190,000	5,700,000	490,000	
	支出	0	0	0	
	うち積立資産支出	0	0	0	
	その他の活動資金収支差額	6,190,000	5,700,000	490,000	
当期資金収支差額合計		▲1,774,010	▲1,779,841	5,831	
前期末支払資金残高		2,290,615	4,070,456	▲1,779,841	
当期末支払資金残高		516,605	2,290,615	▲1,774,010	

【木野南保育園】

区分		R元	H30	差引	摘要
事業活動による収支	収入	157,625,274	164,951,178	▲7,325,904	
	うち保育事業収入	152,792,828	159,725,240	▲6,932,412	
	支出	154,646,012	156,886,689	▲2,240,677	
	うち人件費支出	124,681,731	127,151,363	▲2,469,632	
	事業活動資金収支差額	2,979,262	8,064,489	▲5,085,227	
施設整備等による収支	収入	5,962,600	6,492,600	▲530,000	
	支出	6,512,600	7,502,272	▲989,672	
	施設整備等資金収支差額	▲550,000	▲1,009,672	459,672	
その他の活動による収支	収入	0	0	0	
	支出	1,540,000	1,430,000	110,000	
	うち積立資産支出	0	0	0	
	その他の活動資金収支差額	▲1,540,000	▲1,430,000	▲110,000	
当期資金収支差額合計		889,262	5,624,817	▲4,735,555	
前期末支払資金残高		13,996,718	8,371,901	5,624,817	
当期末支払資金残高		14,885,980	13,996,718	889,262	

【宝来こども園（宝来保育園)】

区　　分		R元	H30	差　引	摘　要
事業活動による収支	収　入	203,692,093	145,898,176	57,793,917	
	うち保育事業収入	194,479,121	142,630,070	51,849,051	
	支　出	188,492,389	162,932,373	25,560,016	
	うち人件費支出	146,948,042	120,247,653	26,700,389	
	事業活動資金収支差額	15,199,704	▲17,034,197	32,233,901	
施設整備等による収支	収　入	21,711,000	557,904,188	▲536,193,188	
	支　出	69,343,270	597,594,523	▲528,251,253	
	施設整備等資金収支差額	▲47,632,270	▲39,690,335	▲7,941,935	
その他の活動による収支	収　入	45,500,000	56,131,000	▲10,631,000	
	支　出	4,456,783	7,691,000	▲3,234,217	
	うち積立資産支出	2,000,000	0	2,000,000	
	その他の活動資金収支差額	41,043,217	48,440,000	▲7,396,783	
当期資金収支差額合計		8,610,651	▲8,284,532	16,895,183	
前期末支払資金残高		7,844,790	16,129,322	▲8,284,532	
当期末支払資金残高		16,455,441	7,844,790	8,610,651	

【鈴蘭保育園】

区　　分		R元	H30	差　引	摘　要
事業活動による収支	収　入	186,305,179	176,117,780	10,187,399	
	うち保育事業収入	175,968,791	171,040,000	4,928,791	
	支　出	172,465,617	167,775,133	4,690,484	
	うち人件費支出	138,101,893	133,136,314	4,965,579	
	事業活動資金収支差額	13,839,562	8,342,647	5,496,915	
施設整備等による収支	収　入	7,568,500	8,058,500	▲490,000	
	支　出	9,645,102	10,177,680	▲532,578	
	施設整備等資金収支差額	▲2,076,602	▲2,119,180	42,578	
その他の活動による収支	収　入	0	0	0	
	支　出	6,550,000	1,670,000	4,880,000	
	うち積立資産支出	5,000,000	0	5,000,000	
	その他の活動資金収支差額	▲6,550,000	▲1,670,000	▲4,880,000	
当期資金収支差額合計		5,212,960	4,553,467	659,493	
前期末支払資金残高		12,305,375	7,751,908	4,553,467	
当期末支払資金残高		17,518,335	12,305,375	5,212,960	

【おひさま保育園】

区　　分		R元	H30	差　引	摘　要
事業活動による収支	収　入	136,365,228	125,471,113	10,894,115	
	うち保育事業収入	127,420,954	122,987,605	4,433,349	
	支　出	130,176,945	123,211,267	6,965,678	
	うち人件費支出	111,620,005	104,242,395	7,377,610	
	事業活動資金収支差額	6,188,283	2,259,846	3,928,437	
施設整備等による収支	収　入	0	0	0	
	支　出	0	1,216,156	▲1,216,156	
	施設整備等資金収支差額	0	▲1,216,156	1,216,156	
その他の活動による収支	収　入	0	0	0	
	支　出	1,530,000	1,040,000	490,000	
	うち積立資産支出	0	0	0	
	その他の活動資金収支差額	▲1,530,000	▲1,040,000	▲490,000	
当期資金収支差額合計		4,658,283	3,690	4,654,593	
前期末支払資金残高		18,386,371	18,382,681	3,690	
当期末支払資金残高		23,044,654	18,386,371	4,658,283	

【下士幌へき地保育所】

区　　分		R元	H30	差　引	摘　要
事業活動による収支	収　入	17,899,687	240,486	17,659,201	
	うち保育事業収入	17,665,540	0	17,665,540	
	支　出	14,093,794	42,763	14,051,031	
	うち人件費支出	11,460,355	0	11,460,355	
	事業活動資金収支差額	3,805,893	197,723	3,608,170	
施設整備等による収支	収　入	0	0	0	
	支　出	135,000	113,940	21,060	
	施設整備等資金収支差額	▲135,000	▲113,940	▲21,060	
その他の活動による収支	収　入	0	0	0	
	支　出	10,000	0	10,000	
	うち積立資産支出	0	0	0	
	その他の活動資金収支差額	▲10,000	0	▲10,000	
当期資金収支差額合計		3,660,893	83,783	3,577,110	
前期末支払資金残高		83,783	0	83,783	
当期末支払資金残高		3,744,676	83,783	3,660,893	

【　計　】

区　　分		R元	H30	差　　引	摘　　要
事業活動による収支	収　入	701,949,493	612,721,393	89,228,100	
	うち保育事業収入	668,327,234	596,382,915	71,944,319	
	支　出	667,350,799	618,370,726	48,980,073	
	うち人件費支出	536,853,988	488,821,893	48,032,095	
	事業活動資金収支差額	34,598,694	▲5,649,333	40,248,027	
施設整備等による収支	収　入	35,242,100	572,455,288	▲537,213,188	
	支　出	86,185,972	616,604,571	▲530,418,599	
	施設整備等資金収支差額	▲50,943,872	▲44,149,283	▲6,794,589	
その他の活動による収支	収　入	51,690,000	61,831,000	▲10,141,000	内部取引消去前
	支　出	14,086,783	11,831,000	2,255,783	内部取引消去前
	うち積立資産支出	7,000,000	0	7,000,000	
	その他の活動資金収支差額	37,603,217	50,000,000	▲12,396,783	
当期資金収支差額合計		21,258,039	201,384	21,056,655	
前期末支払資金残高		54,907,652	54,706,268	201,384	
当期末支払資金残高		76,165,691	54,907,652	21,258,039	

②　令和元年度末積立資産残高（基本金を除く。）は、次のとおりである。

（単位：千円）

区　　分		木野南保育園	宝来こども園	鈴蘭保育園	おひさま保育園	下士幌へき地	計
施設整備費	H30 末	59,000	45,500	106,900	26,000	0	237,400
	R元増減	0	▲43,500	5,000	0	0	▲38,500
	R元末	59,000	2,000	111,900	26,000	0	198,900
修　繕　費	H30 末	22,000	23,000	38,000	10,500	0	93,500
	R元増減	0	0	0	0	0	0
	R元末	22,000	23,000	38,000	10,500	0	93,500
備品購入費	H30 末	12,000	2,000	15,000	10,000	0	39,000
	R元増減	0	0	0	0	0	0
	R元末	12,000	2,000	15,000	10,000	0	39,000
人　件　費	H30 末	57,700	68,700	79,000	18,500	0	223,900
	R元増減	0	0	0	0	0	0
	R元末	57,700	68,700	79,000	18,500	0	223,900
計	H30 末	150,700	139,200	238,900	65,000	0	593,800
	R元増減	0	▲43,500	5,000	0	0	▲38,500
	R元末	150,700	95,700	243,900	65,000	0	555,300

(16)（仮称）宝来認定こども園（宝来こども園）建設事業の執行状況

平成 30 年度及び令和元年度において実施した「(仮称）宝来認定こども園（宝来こども園）建設事業」の執行状況は、次のとおりである。

（単位：円）

区　分	事　業　内　容	平成 30 年度	令和元年度	計
【直接工事費】				
建物本体工事費	○建築主体及び設備（電気・機械） ・鉄骨造 2 階建 1,593.25 ㎡ ・工事請負金額 574,560,000 うち平成 30 年度（建物本体）　523,755,618 うち令和元年度（外構・解体撤去）　50,804,382	523,755,618		523,755,618
外構工事費	○駐車場、園庭、遊具、アプローチ、菜園コーナー等 ・駐車場、通路、緑化（張芝、築山）、フェンス、門扉、物置、掲示板、フラッグポール、大型遊具、先行解体		26,065,842	26,065,842
解体撤去工事費	○旧宝来保育園園舎解体撤去工事 ・CB 一部鉄骨造平家建 826.75 ㎡		24,738,540	24,738,540
設計関係費	○基本設計・実施設計費（H29・10・26～H30・4・20）	18,122,400		18,122,400
	○工事監理費（H30・9・18～R 元（H31）・7・31）		6,912,000	6,912,000
備品購入費	○初度調達費	15,017,184		15,017,184
計		556,895,202	57,716,382	614,611,584
【関連工事費】				
駐車場関係費	○土地借上料、駐車場整備費、防犯灯設置費、看板代	2,859,360		2,859,360
建築確認関係費	○建築確認申請、建物完了検査、仮使用認定申請、構造計算審査申請、計画変更確認申請、建築完了検査申請に係る手数料	775,000	56,000	831,000
旧園舎取得関係費	○旧宝来保育園取得費 ・取得先：音更町 ・無償譲渡 ・表題登記、所有権保存登記（業務委託費を含む。）、火災保険料	268,820		268,820
建物登記関係費	○新園舎分に係る表題登記、所有権保存登記（業務委託費を含む。）		187,320	187,320
設計変更関係費	○設計内容の変更に伴う委託費	291,600		291,600
給水装置関係費	○口径負担金、審査等手数料	227,000		227,000
公園整備費	○工事中における園庭代替（宝来西公園の砂代）	183,600		183,600
備品購入費	○追加備品分 ・保育用備品、保育材料費、事務用備品	942,784	2,256,502	3,199,286
追加工事費	○埋設物撤去、器具庫棚造作費、家具等取付費、移動ハウス製作費、園名板設置費、屋外灯増設費、雁木照明器具取付費		7,174,440	7,174,440
起工式関係費	○H30・8・10 開催	161,494		161,494
仏具関係費	○御本尊、仏具	828,638		828,638
引越関係費	○引越費用	268,920		268,920
その他事務費	○初度消耗品費、印紙代、広告料、印刷代、振込手数料、切手郵便料、リサイクル料、その他	1,187,659	39,080	1,226,739
計		7,994,875	9,713,342	17,708,217
合　計		564,890,077	67,429,724	632,319,801

区　　分	事　業　内　容	平成 30 年度	令和元年度	計
【財源内訳】				
補助金	○平成 30 年度分 ・文部科学省所管分（認定こども園施設整備交付金）53,000,000 ・厚生労働省所管分（保育所等整備交付金・建築主体）165,153,000 ・音更町補助金（国が定める負担割合に基づくルール分）47,145,000	265,298,000		265,298,000
	○令和元年度分 ・厚生労働省所管分（保育所等整備交付金・解体撤去）8,984,000 ・音更町補助金（国が定める負担割合に基づくルール分）1,123,000		10,107,000	10,107,000
借入金	○独立行政法人福祉医療機構 ・償還期間：20 年以内 ・据置期間：3 月以内 ・利率：0.21%。ただし、10 年経過ごとに金利見直制度を適用 ・償還方法：元金均等、毎月償還 ・担保：対象施設を担保提供 ・保証：音更町議会議決	249,500,000		249,500,000
自己資金	○積立資産の取崩 ・保育所施設・設備積立金 77,500,000 ・備品等購入積立金 18,000,000	45,301,620	50,198,380	95,500,000
	○その他（各年度における事業活動資金）	4,790,457	7,124,344	11,914,801
合　　計		564,890,077	67,429,724	632,319,801

社会福祉法人　大谷菩提樹会　教育・保育課程（全体的な計画）

教育保育理念	ともに生き　ともに育ち　ともに支え合う保育を目指す	保育目標	1．地球上のどんな所でもたくましく生きるための　基礎体力作り
教育保育方針	心とからだと知恵の保育　　心の触れ合う保育 自然と触れ合う保育　　ご家庭と連携しての保育		2．問題解決能力を育てる　体験学習 3．人間どうしが温かく助け合って生きていくための　思いやりの心づくり

社会的責任	人権尊重	説明責任	情報保護	苦情処理・解決
児童福祉法などの関連法規の遵守 地域との連携 子どもの人権と尊厳の確保 子育て家庭の支援	保育士等は、保育の営みが子どもの人権を守るために法的、制度的に裏づけられていることを認識し、理解する。	保護者や地域社会と連携や交流を図り風通しの良い運営を行う。 一方的な「説明」ではなくわかりやすく応答的な「説明」をする。	保育にあたり知り得た保護者や子どもの情報は、正当な理由なく漏らしてはいけない。	苦情解決責任者である施設長の下に苦情解決担当者を決め、書面における体制を整備する。 第三者委員を設置する。 職員で共通理解を図る。

発達の連続性に考慮した教育・保育の展開（0歳から就学前の一貫した教育・保育の実践）	一日の連続性及び生活リズムの多様性に配慮する（長期的休業、在園時間の違いなど）	環境を通して行う教育及び保育の充実を図る（安全の確保と主体的な活動、異年齢の関わり）	養護の行き届いた環境の下、生命の保持、情緒の安定を図る	園児の健康及び安全に留意する。（健康支援・増進、疾病対応、環境衛生、安全対策、災害対策、食育の取組）
保護者に対する子育て支援については、教育・福祉の観点に立って就労及び子育ての両立を促す関わりを心がける				

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	・健康な心と体　・自立心　・協同性　・道徳性・規範意識の芽生え　・社会生活との関わり　・思考力の芽生え　・自然との関わり・生命尊重　・数量や図形、標識や文字等への関心・感覚　・言葉による伝え合い　・豊かな感性と表現					
年齢別目標	0歳児	・一人一人の生活リズムの安定を基盤とし、家庭との連携のもとで心地よく生活する。 ・特定の大人との応答的なかくわりを通じて、情緒的な絆を形成していく。 ・自分は無条件でありのまま愛されているという感覚を持つ。	1歳児	・安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが芽生える。 ・十分に身体を動かし探索する中で、聞く・見る・触れる、嗅ぐ、味わうなどの経験をし、興味や好奇心を育む。 ・自我が芽生え自分の要求、気持ちを行動や言葉で表し、自己主張する気持ちが育つ。	2歳児	・保育者と安定した関わりの中で、自分の身の回りの事を少しずつ自分でしようとする。 ・好きな遊びを楽しんだり、友だちとの関わりを広げていく。 ・保育者を仲立ちとしてみたて・つもりのイメージを共有しあった遊びを楽しむ。
	3歳児	・生活に見通しを持ち、身の回りの事を自分でしようとする。 ・友達と一緒に遊ぶことを楽しみながら、人との関わりを深めていく。 ・自分の思い、要求、経験などことばや様々な活動で自己表現する。	4歳児	・自分で出来ることに意欲や喜びを持ちながら、生活に必要な習慣が身についていく。 ・いろいろな活動や遊びを積極的に取り組みながら、人とのつながりを深めていく。 ・集団の中で自己主張したり、相手の立場を考えながら行動出来るようになる。	5歳児	・就学に向けて、基本的な生活や」態度を身につける。 ・友達と協力しあい、目的を達成していく喜びを味わう。 ・探究心が深まり、試したり工夫しながら遊び、豊かな心情や好奇心を高める。

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
養護	生命の保持	・家庭との連携により生理的欲求が満たされ、個々の生活リズムが整うように配慮する。 ・一人ひとりの健康増進や身体発達が図られていく。	・保育者との信頼関係がさらに深まり愛着関係が育まれていく。 ・一人ひとりの心身の状態を的確に把握し快適に生活できるようようにする。	・子どもの気持ちを受け止めながら、安心して自分の気持ちを表すことができるようになる。 ・自分でやりたいという気持ちを尊重し、出来た時は一緒に喜び共感し意欲と自信が持てるようにする。	・基本的生活習慣を身につけられるよう個々の生活の様子を把握し、それぞれに合わせた援助をする。 ・全身を使った運動や手先を使う動きをバランスよく取り入れ運動機能や手先の発達を促す。	・自らの体調の変化に気づくよう見守る。 ・運動量が増し活発に活動できるように配慮する。 ・自らの体調の変化に気づくように環境を整える。	・健康に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるよう見守る。
	情緒の安定	・自らの欲求を丁寧に応答されることを安心感の土台とし、人への基本的信頼感が育つようにする。	・保育者から抱きしめられたり、触れられたりすることにより、心地よさや安心感を得ている。 ・一人ひとりが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。	・保育者に寄り添われ、受容・共感されながら安定した信頼感をもっていく。	・保育者や友だちとの関わりが広がるようにする。 ・友達と互いに自己主張し合い、関わりの中で葛藤、受け入れ合うことを経験しながら自己肯定感の育ちを援助する。	・様々な体験を通し、保育者に共感してもらい、支えられ自己肯定感が育つようにする。 ・健康で安全な生活の仕方に気づく。	・一人ひとりの子どもが、主体的に活動し自分への自信を持つことができるよう適切に働きかける。 ・健康で安全な生活の仕方が身につく。
教育	健康	乳児の三つの視点	・身の回りの簡単な事を自分でしようとする気持ちが芽生える。 ・明るく伸び伸びと行動し充実感を味わう。	・生活の環境を整えることで自分で出来ることを自分でやろうとする。	・明るく伸び伸びと、体を十分に動かし進んで運動しようとする。	・全身を使いながら様々な遊具や遊びに挑戦し積極的に活動する。	・いろいろな遊びの中で十分に体を動かし充実感を味わう。
	人間関係	健やかに伸び伸びと育つ（身体的発達の視点） ・身体機能が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。 ・伸び伸びと体を動かし、這う、歩くなどの運動をしようとする。 ・食事、睡眠等の生活リズムの感覚が芽生える。	・保育者や友だちに関心を持ち、真似をしたり関わろうとする。	・安心できる保育者との関係の下で身近な大人や友達に関心を持ち、模倣して遊んだり、需要的、応答的に関わろうとする。	・友だちとの遊びを楽しみ、共に過ごす事の喜びを味わう。	・身近な人と関わり思いやりや親しみを持つ。 ・友達とルールを守って楽しく遊ぶ。	・遊びや行事を通して友だちを応援したり力を合わせることの大切さを知り、仲間意識が育つ。
	環境	身近な人と気持ちが通じ合う（社会的発達の視点） ・安心できる関係のもとで、身近な人と共に過ごす喜びを感じ、関りを深めることで、愛情や信頼感が芽生える。 ・身の回りを快適等に心が、きれいにする事の喜びを感じようとする。	・興味をもって発見を発見を楽しんだり考えようとする。	・場の設定・遊具・玩具を整え、みたてつもりあそびを保育者や友だちと楽しむ。	・身近な環境に親しみ、触れあう中で様々なものに興味や関心を持つ。	・身近な物や遊具に興味を持って関わり考えたり試したりして工夫して遊ぶ。	・生活や遊びの中で簡単な文字や物事の仕組み、性質に興味を持つ。
	言葉	・喃語の言みと応答によって言葉が芽生える	・話しかけややりとりの中で実感と言葉が結びつく経験を楽しむ。 ・言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。	・遊びを繰り返し楽しむことで、日常生活に必要な言葉がわかるようになると共に、絵本や物語に親しみ、保育者や友達と心を通わせる。	・興味、関心を持ったことや、体験した内容を言葉で表現し友達や保育者とイメージの共有を楽しむ。	・保育者や友だちとの会話を楽しみ相手に伝わるように話す工夫をする。	・人の話をよく聞き会話を楽しみ、日常生活に必要な言葉を適切に伝え合う。
	表現	身近なものと関わり感性が育つ（精神的発達の視点） ・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を持つ。 ・身体の感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等で表現する。	・身体の経験を豊かにし、諸感覚の様々な感覚を味わう。	・保育者や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。	・感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。	・友達とイメージを共有する中で一緒に表現することを楽しむ。	・自分のイメージをいろいろな方法で表現したり伝え合ったりして感性を豊かにする。
食育	食を営む力の基礎	・食べることに意欲を持つ。	・食材に興味を持つ。	・意欲的に食べるようになる。	・食べる事の楽しさを知る。	・友達と一緒に楽しく食事ができる。	・食事と栄養のバランスを知り、落ち着いて食事することができる。

健康・安全・衛生	・健康発育発達状況の把握　・心身状態や家庭生活の把握　・年間保健指導計画　・内科、歯科検診　・歯みがき指導　・異常が認められた時の対応 ・施設内外の設備　・用具等の清掃及び消毒　・安全管理及び自主点検　・災害対策 ・毎月の避難訓練　・消防署見学、消防点検、消火訓練　・交通安全教室　・救急講習	研修計画	・園外研修（市内、管内、道内、道外） ・研修報告　・キャリアアップ研修 ・園内研修　・法人研修
保護者に対する子育て支援	・園開放（あそびの広場）　・子育て情報（一時保育、休日保育、病児保育、子育てタクシー等）	職員の資質向上	・実践、研修を通じて専門性を高めるとともに職員間の共通理解と協働性を高める
地域に対する子育て支援と連携	・実習生、職場体験、ボランティアの受け入れ　・地域文化祭に参加　・幼保小中との交流	小学校との連携	・保育園行事などの案内状の送付 ・保育所児童保育要領の送付 ・小学校との交流

事業報告作成資料　　2019（令和元）年度

施設名　木野南 保育園

1．地域貢献

日　程	内　　容
6月13.20日	帯広大谷短大1年生見学(2日間に分けて訪問)
6月24日	きのネットに園長・主任・前年度の年長担任が参加。卒園した子ども達の
	情報交換。
7月10日	「あんじゅ音更」に慰問。年長児が歌や手遊びを披露。
7月30日	乱拍子さんコンサート。ひだまり保育園の園児さんを招く。
8月9日	木野東の家学童交流。年長児が招待を受けて、交流を楽しむ。
9月11日	「老健とかち」に慰問。年長児が歌や手遊びを披露。
10月30日	大友剛さんコンサート。ひだまり保育園の園児さんを招く。
10月31日	ハロウィンの行事で、地域の会社や個人のお宅にお邪魔し、園児と交流して頂く。
11月27日	きのネットに園長主任が参加。年長児の情報交換。
1月17日	大谷短大の長崎ゼミ来園。園児にコンサートを開いて頂く。

2．実習生等受入れ

日　程	内　　容
5月13～24日	星槎道都大学1名保育実習受け入れ
6月10～21日	帯広大谷短大2年生保育実習1名受け入れ
6月13.20日	帯広大谷短大1年生見学実習(2日間に分けて訪問)
7月16.22日	緑南中幼児ふれあい体験学習受け入れ
7月26日	幕別高校インターシップ受け入れ
8月19～30日	帯広大谷短大2年生保育実習1名受け入れ
9月2～13日	星槎道都大学1名保育実習受け入れ
1月8日	短大主催インターシップ音更高校、緑陽高校より保育実習（5名）
2月17～3月2日	帯広大谷短大1年生2名、東京家政大学2年1名保育実習受け入れ

3．視察受入れ

日　程	内　　容

4．その他

日　程	内　　容
年4回	きの子育て支援センターの日曜地域開放「きのっ子サンデー」にて、地域の
（日曜日）	ご家庭の皆さんに園舎内や、園庭を自由に利用していただき遊んでもらう。
	（10月に大谷短大のアスパラさんの読み聞かせ、1月に読み聞かせサークル
	ババールに来てもらい楽しんでいただく。）
4～3月	子育て支援センター予定表　近隣4町内会へ配布

施設名 宝来こども園

1. 地域貢献

日　程	内　　容
5月23日	年中組が老健施設あんじゅ訪問。歌や体操で交流。
6月18日	園開放(地域子育て支援)
8月6日	園開放(地域子育て支援)
8月9日	近隣住民に落成記念の紅白まんじゅうを届ける。
8月20日	園開放(地域子育て支援)
9月10日	園開放(地域子育て支援)
9月17日	年長ひまわり組老健施設あんじゅ訪問。体操などで交流。
10月7日	年長あさがお組老健施設あんじゅ訪問。手遊びなどで交流。
10月8日	園開放(地域子育て支援)
10月15日	音更町町づくり推進委員会に園長出席。
10月31日	大友剛さんのコンサートに地域の保育園「きたのこぐま」の園児を招待する。
11月10日	宝来地区連合文化祭に園児出演、歌や踊りを披露する。(年長児)
1月14日	園開放(地域子育て支援)

2. 実習生等受入れ

日　程	内　　容
6月10日	大谷短期大学2年岩瀬愛美12日間実習受け入れ。
7月18日	緑南中3年生1クラス34名の職業体験を受け入れる。
10月31日	緑南中2年生14名の職業体験を受け入れる。
11月5日	札幌国際大学1年稲船茉奈15日間実習受け入れ。
1月10日	清水高校1年生3名、大谷短大主催インターンシップ体験受け入れ。
2月17日	大谷短期大学1年3名12日間実習受け入れ。
	菊池愛奈、谷もも、谷本潮音。

3. 視察受入れ

日　程	内　　容
6月11日	北斗病院の理学療法士、言語聴覚士の先生8名より保育実習を兼ねた
	視察の申し入れがあり3日間に分けて来園、実習と意見交流を行う。
11月29日	大空町社会福祉協議会16名がこども園視察に訪れる。専務、事務長、園長
	が対応。2回地域支援室「にじいろ」にて質疑応答を行う。

4. その他

日　程	内　　容
6月24日	キノネット会議。地域の幼保小中学校・学童・療育センターが集まり、支援の
	必要な児童について情報交換を行う。
9月12日	大谷幼稚園年長児と年長組園児が宝来中央公園で交流。
11月27日	キノネットに主任、年長担任2名が参加し、就学予定の配慮が必要な
	年長児の状況を伝達する。

施設名　　鈴蘭 保育園

1. 地域貢献

日　程	内　　容
5月13日	介護老人施設ロータス音更　年長児訪問　春の交流
6月13日	帯広大谷短期大学社会福祉専攻1年生17名　施設見学
6月20日	〃
7月2日	音更音頭保存会来園　　音更音頭普及活動
7月5日	介護老人福祉施設ロータス音更　年中児訪問「夏まつり」
9月17日	地域参観　中鈴蘭町内会あすなろの会　踊り披露
10月5日	地域ごみ拾い　公園、散歩道など親子で実施
10月19日	柏寿協会ディサービス「らんらん」訪問　土曜保育園児　交流
3月26日	介護老人福祉施設ロータス音更　年長児贈り物届け

2. 実習生等受入れ

日　程	内　　容
9月19日	音更高校インターンシップ　～20日
10月15日	帯広大谷短期大学　2年実習生2名　～28日
10月17日	駒場中学校職業体験　2年生3名　～18日
10月29日	下音更中学校　〃　　2年生15名
10月31日	緑南中学校　　〃　　2年生10名
1月9日	清水高、緑陽高　インターンシップ　3名
2月17日	帯広大谷短期大学　1年実習生　～3月2日

3. 視察受入れ

日　程	内　　容

4. その他

日　程	内　　容
4～2月	子育て支援センター予定表　近隣4町内会へ配布
〃	子育て支援センター　ボランティア（手作り布おもちゃ作成等）
	保健センター事業「のびのび」 進行係
10月20日	和田智代氏講演会「子育て応援お話会in十勝」 会場提供
12月23日	下音更中吹奏楽部　来園　クリスマス演奏会　年長児太鼓披露
12．1月	養育支援訪問　鈴蘭地区　2回

施設名　おひさま 保育園

1. 地域貢献

日　程	内　　容
6月13日	光南小学校5年生と園児の交流
7月3日	光南小学校6年生と園児の交流
6月21日	『あんじゅ音更』慰問(年長)。
10月23日	あじさい保育園と年長児交流（公園）
10月30日	四中3年生（30名）との交流
10月31日	光南小学校5年生と園児の交流
11月6日	光南小学校6年生、あじさい保育園との交流（光南小学校にて　4．5才児）
月1回	遊びの広場（地域開放事業）
	夏祭り、運動会、発表会　年長児がご近所にチラシ、プログラムを配布し呼びかける

2. 実習生等受入れ

日　程	内　　容
9月19日	音更高校インターンシップ受け入れ
11月8日	すいせい保育所交流実習受け入れ
1月9日	北高・芽室高インターンシップ受け入れ
2月17日	大谷短大生保育実習受け入れ

3. 視察受入れ

日　程	内　　容

4. その他

日　程	内　　容
6月5日	コア専門学校歯科検診見学と交流
月1回	あっちこっち紙芝居読み聞かせ
	幼保小中連携四中エリアファミリー　会議、研修会に参加
	幼保小連携　光南小での管理職会議